



事務事業名	きらり健康プランの進行管理事業	事務事業No.	10201000322	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成20年3月に桜川市健康増進計画を策定。平成25年度は中間見直しを実施し、本計画の改訂と新たな食育推進計画及び歯科保健計画を一体化させ「きらり健康プラン」をH26年3月に策定した。平成28年4月改正自殺対策基本法が施行、翌年度には自殺対策大綱が閣議決定され、市町村の自殺対策計画策定が義務付けられた。令和元年度に、母子保健計画及び自殺対策計画を加えた第2次桜川市きらり健康プランを策定した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
きらり健康プランの策定により、改めて市の健康課題が明らかにされたので、関係機関や団体、学校等とできるだけ連携や協力を図り推進して欲しい。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第2次総合計画の施策に「健康づくりの推進」が設定されており、健康づくり全般の方向性や目標を定めるきらり健康プランを策定及び推進することは、政策体系と結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 早期から生活習慣病を予防し、健康の保持増進を図ることで医療費の軽減につながる。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 計画策定に関する事務については、特に向上の余地はない。計画の進捗管理については、毎年度計画書の主な指標を確認し事業を計画的に展開することで、成果が向上すると思われる。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 計画に基づいた生活習慣病予防による健康の保持増進事業を進めることは、疾病の一次予防に繋がるものである。事業を休止することで重篤な生活習慣病にいたる市民が増加すれば、経済的にも社会的にも大きな損失を招くことになる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 健康増進計画・食育推進計画・歯科保健計画・母子保健計画・自殺対策計画の5計画を一体化させ、具体的な健康づくり活動目標を示している計画なので統廃合はできない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 計画の進行管理については予算化していない。第2次計画の策定(平成30年度及び令和元年度の2か年)にあたっては、委員報酬及び委託料を予算化しているが、必要最低限の措置であって削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民誰もが自分のライフスタイルに合わせた健康づくりができる計画であるので、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	アンケート調査結果及びその他、事業実績の集計及びデータ等をもとに現状を分析し、今年の現状を確認しながら、令和3年度の事業計画、予算確保を行う。各分野及びライフステージごとに市民が取り組むべきこととそれを行うための成果指標を設定することで、今後の事業が具体的・計画的に進められるよう努めた。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 毎年の進捗状況の確認のほか、第3次プラン策定に向けて令和5年度にアンケート調査等を行い、課題の見直し、解決策の洗い出しを行う。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		⑦																						
成果優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>